

新聞書き方講座を受けて

私が新聞書き方講座を受けて、私達がからく  
みていた物が、あなたに工夫されて、いるんだな  
と気づきました。家にテレビがない人、スマホ  
がない人、それぞれ役に立っていて、しかも分かり  
やすいので私もそんな新聞をつくりたいです。  
写真のとる位置や、角度、見出しの工夫、それが読  
む人に行わってほしいです。

私はインタビューや人としゃべるのが苦手で、  
メモをとるのも苦手なので、今日教えてもらった  
ように必要な言葉だけを重点的にメモしていき  
たいです。

その他にも、色や、形、大きさなどを変えて  
高齢者の方や、小さな子どもまで、楽しく、読  
みやすくなっているような新聞をつくり  
たいです。

私は新聞をあまり読まないけど、これから  
家にある新聞に目を通してそれぞれの  
工夫を身の周りの人に伝えて知っても  
いい、私も作る新聞を伝わりやすく、  
楽しい新聞を作りたいです。

新聞書き方講座を受けて

メモの書き方や新聞の書き方、写真のフットライトを撮る方法を勉強した。

お

今日の講座を聞いて、より魅力的に書きたいと思いました。自分が思っていた事と同じこともありましたが、ほとんどが違っていても良い勉強になりました。例えば、写真のとり方で、伝えたい物や景色などを一番中央に入れて撮ると思っていたたが、実際は三角形や対角線を意識したり、端に入れて撮ったりして、新聞などは写真だけでもすごく工夫されていることがわかりました。それ以外でも、文章の配置や見出しなど、基本の事でもすごく重要になってくることがよくわかりました。自分が作る新聞は、機械ではなく手書きなので、三好さんかおんちゃんのように、文字の形や大きさ、目立たせたい所をカラー印刷にしてもいいなと思いました。

文章の構成や配置、写真などを今日学んだ事を生かして、目を引く新聞を作りたいです。また、次のトライやる・ウィークを体験する人たちのよい参こうにもなるようにしていきたいと思いました。

## 新聞書き方講座を受けて

今回の新聞書き方講座で大切だと思っただことは3つあります。

1つ目は、写真のとり方です。写真は三角形をイメージしてとるといいことを初めて知りました。そして、幼稚園などでは、小さい子の目線に合わせて、とったほうがいいと聞いたので、やってみたいと思いました。

2つ目は、インタビューの仕方です。インタビュー前に少し下調べをしたほうがよっぽういいことと、質問を決めておくこともしておこうと思いました。インタビューの答えてもらったことを、聞きのがさないうようにうなずいたりしながらしていいことと思いました。

3つ目は、記事の書き方です。見出しでは、大きくしたり、10文字ぐらいで興味を引くような見出しを考えるのはむずかしいけれど、具体的に見出しがいいと分かりました。テーマにあつた内容で書くことも意識しようと思いました。レイアウトは、中心に目立った記事を書いて、まわりの人とはちがうように作れるように頑張りたいです。

新聞書き方講座を受けて

私は、人と違う新聞を書こうと

思いました。まず、インタビューは

具体的に保育士さんの大変さ

や楽しさなどをたくさん聞こうと

思います。そして新聞には、5W1H

をちゃんと入れようと思います。

自分が体験して感じたことは

新聞に出来事として絶対書こう

と思いました。

次の新聞は勢いで今日聞いた

ことを活かして書きます。

新聞書き方講座を受けて

必要な戸名だけ集めて書いていたことがわかった。写真の目もずらしてとかいろいろ工夫していることがわかりました。

インタビューの時は下調下を完璧にはしない。段取りをしない。「いつ」「どこで」「誰が」「何を」「なぜ」「どのように」を聞く。

聞いた時はメモを取る。油断のフニでは書かない。知ったかぶりをせず素外な質問をする。

## 新聞書き方講座を受けて

私は、新聞書き方講座を受けて、たった1つの記事をつくるのに、すごくたくさん細かい工夫があるを知って、びっくりしました。インタビューでは、2つの質問の仕方があったり、インタビュー前の下調べでも、完璧にしではいけなかったり、5W1Hを大切にしていたり、相手のことを考えているようなコツが多くて、人の事を考えることがやっぱり大切なんだなと思いました。メモでは、大切なことだけでなく、かじょう書きでかいたり、メモの紙、ペンの材質なども、こだわっていて、小さなことだけど、大切なことなんだと知ることができました。写真は、とりたいものの位置をどうするかによって印象が変わるので、そういうのもトライやるワークの新聞に活用していきたいです。他にも、見出しは、読み手の興味をひくような短く分かりやすいものを考えていたり、文の構成だけでも、完成間近で記事が変えられるようなつくりになっていて、すごいと思います。そして、トライやるワークの目的や、働くということについても考えさせられる講座だったと思います。私は、今回の講座で学んだ大切なことを忘れずに、トライやるワークの新聞が良いものとなるように頑張りたいと思います。

新聞書き方講座を受けて

僕はこの話を聞いて分かったことは、インタビューをするときは、下調べを完璧にはせず段取りをしないことと、「いつ」「どこで」「誰か」「何を」「なぜ」「どちらか」「どのように」「どれくらい」の八つのこと意識して、知ったかぶりをせず素朴な質問をすることを意識していきたいです。

記事の書き方は、その記事に合った写真や見出しをつけることと、「SWH」を押さえ、逆三角形を徹底することが分かりました。写真も下からとったり、三角形のような感じで明るくとると良い写真になることが分かりました。

教わったことを意識して、いい新聞を作りたいです。



新聞の書き方について教えてくれて  
 ありがとうございます。スクリーン  
 で答えを表示した後、次のページ  
 にスキップが速かったけど、となりの  
 人が教えてくれました。

どこに行く、そこでなにがしたいらと  
 いうお題でいろんな人に当てる  
 こともありましたね。真ん中以降  
 は当てられないうて思いましたが、  
 実はそうじゃなかった人ですね。それで  
 自分も当てられた感想は、とっても  
 気まずかったです。でもさ、書いた「の  
 お題はとしても簡単で答えやすかった  
 です。

そのまま食べ物の写真をとると  
 暗いままはなにかおいしく見えな  
 いなあと思っただけ、ライトありで写真  
 をとると、とてもおいしく見えました。  
 新聞の書き方もちょっと理解して  
 タメになりました。誠にありがとうございます。

新聞書き方講座を受けて

新聞書き方講座を受けて、私は、普段なら「なく  
読んでいた新聞ですか」、こんなにも工夫されているなん  
て知らなかったのので、驚きました。私はインタビューや、  
初めて会う人と接することが苦手なので、今日教えてくだ  
さつ、「5W1H」、「下調べ」、「質問を決めておく」などのこ  
とをして、トライヤムの事業所に行つたときに、あせつり戸惑つ  
たりしないようにしたいです。この話を聞く前までは、メモを  
取るとき、その人が言つたことを全部写してつたと思つてけれど、  
この話を聞いて、「大切なことだけ」を、「かじょう書き」でかくという  
のが分かつたので、それを使って、上手くメモを取れるようにか  
んはつたりです。写真の撮り方にも工夫があることが分かり  
ました。私は、撮りつたものを大きく中心に撮れば「良い」と思  
てつたけれど、三角形を意識して撮ると、すじくおしゃれた写  
真になつてつたので、や、てみたいと思いました。見出しも、すじく  
大事なことがわかつました。見出しがなければ「ワ」で、何の話か分  
からなかつたり、見出しが少ないと、違う意味で捉えてしま  
うかもしれないから、見出しはすじく「大事」だと思います。今日学  
んだことを、トライヤムの新聞をつつたり、事業所でインタビュー  
あるときに、生かせるようにしたいです。

新聞書き方講座を受けて

僕は新聞書き方講座を受けて、新聞の書き方、インタビューの仕方、写真の上手にとる方法がよく分かりました。

6W2Hの6Wは5W+ Whichなんだろうけど2HがHowと何なのかなと思いました。インタビューっていろいろ、聞きたいことを聞いてそれをまとめるだけだと思、しいたけど、けこうコツとかも多くて奥が深いんだなと思いました。写真の撮りコツでは、首相はかの本多重かにマスクが大量にインタビューしているとき撮っている写真にもそれを意識するのは大変だろうなと思いました。　　が撮った写真でも全体を撮るんじゃなくて一部を拡大して撮ったほうがいいんじゃないかと思いました。

僕は今回の講座で新聞はたくさん人の努力、工夫の固まりなんだなと思いました。これからのレポートづくりでも参考にできるところがたくさんあるだろうから参考にしていきたいです

新聞書き方講座を受けて

ぼくは、今日新聞の書き方講座を受けました。

新聞の書き方講座を受けると、これは新聞を書くのは難しいということだ。

ぼくは小学校のときに新聞を書いたことが

あったけど、今日習った6W2Hや逆三角

形などいろいろのことを学びました。

今日学んだことをこれから使っていきたい

と思います。今年にはライターや

ウークの後に新聞を書くので、今日

の新聞書き方講座で教えてもら

ったことをライターやウークの新聞

でも使っていきたいと思います。

新聞書き方講座を受けて

新聞のかま方が分かった。見出しをかくことにより  
内容が分かりやすくなることを知った。文は逆三角形  
の構成でかくと前の文をみれば内容が伝  
わるので逆三角形でかく。インタビューは段どりを  
完璧には決めないことを知ってびっくりした。  
メモをとる時はかじょうがまでかいたり名前をか  
くときは本人にみてもらって確認することを知った  
写真のレイアウトは文が長くないように調節  
したりすることができると知った。下調べは完  
璧にはせむにすることがびっくりした。神戸新聞で  
夜中に入ってまたニュースをすぐ入れるのがす  
ごいと思った。写真を撮る時は逆三角形を  
意識したり、近くからや遠くなどいろいろな角度  
からたくさんとることが大切な事を知った。  
6w2Hを意識してインタビューするとい  
い事を知ったのでインタビューする時はそれを  
意識しようと思いました。みよしさんが10  
分ぐらいで森永先生の記事を作っていてすご  
いと思った。トライやるウィークでは全部  
生かしてしていただきました。

新聞書き方講座を受けて

何を学んだかという点、インタビューのしかたや、  
うまく写真をさつ映じきりやり方や、  
写真などの位置におけばいいのかわ、  
見出しの大切さなど、新聞の書き方  
のうまい書き方を学びました。

僕は今までインタビューは、質問を  
して、書くだけをしていました。

このインタビュー術の①〜⑱まで  
の極意を元に頑張ってみたく  
い、思います。

小学生の時に、何回か新聞を書いた  
ことがございますが、いつも写真は  
その記事の横に適当にはったり、書きたい  
ことだけをかいて、感想も、感じたこと  
しか、かいておりませんでした。

この講座でこのノウハウも少しわか  
た気がするので、しっかりと配置して、  
きれいにかいて、インタビューもしっかりと  
と、きれいに、良い新聞を作りたいと、  
思います。

新聞書き方講座を受けて

僕は「新聞書き方講座」を受けて、新聞のことについてよくわかりました。いままで、新聞の写真の映り方など、写真をのせる場所など気にしていませんでした。僕は家で、新聞はとってなくて学校のやつでしか、新聞にふれる機会がありませんでした。今日の「新聞書き方講座」で、神戸新聞、朝日新聞、など、新聞を読む人が読みやすいように、細かいことなど、(写真の映し方、読みやすいか)気にして、新聞を出すぐらいに、大きなニュースがあったらそのニュースの場所をとるために、あまり知られていないニュースを少しけずったりして、みんながいちのときにも、すぐに対応できるようになっていて、四コマ コレなどもあって読んでいて、楽しくなるようにも、作られていることを知りました。トライやる ウェークで「にしけん」に行きます。そこでは机を作ったりPCのやつとか、建せつするところで、にしけんでも、みんなのことを、今の一年などで、行っている人でも、わかるぐらい、しかりした新聞を作りたいです。

新聞書き方講座を受けて

トライやるほじ=かいたくたから、

より1つのお話を大切に聞かなければ

後で教えてくれる人が居ないので、

自分が困らないためにも、

気をつけなければいけないな、と思いました。

任された仕事をこなしながら、

新聞作りに必要な情報を聞き出すのは

難しいと思うけれど、どちらでも全力で

がんばりたいです。

記者の方が言うたように「勢いでかく、って

いうのができるように。時短でいいように

仕上げたいです。

記憶は時間が経つにつれ、うすれていくものだから

その時思った事や、メモしきれなかったエピソード

とかを忘れていけないように早めにとめられるように

新聞を作ります。



新聞書き方講座を受けて

私が今日新聞の書き方講座を受けて学んだことは2つあります。

1つ目は、新聞の人はすごく大変なんだなと思いました。

見出しを考えたり、その日のいろいろなニュースを文にしてまとめたり、夜中にトップの大事な記事がとどいたら新聞はできあがってるからむりやりつめてまなければならぬので大変で休むひまもないと学びました。

2つ目はインタビューの様子の手紙やメモの取り方やゴジ、雑字などすべてが細すぎてびっくりしました。

ゴジ、雑字をしてしまうと信用をなくしてしまったり、インタビューをする前に下調べをして感嘆にはしてはいけないかったり、写真をとるときにはいろいろな角度からとることが大切だと知りました。

今日聞いた話をもとにトライアルワークがはばり、新聞をしっかりとけるようにがんばりたいです。

新聞書き方講座を受けて

新聞書き方講座を受けてすごくアツク  
になったと感じた。

なぜかという、新聞を1人で書かないとい  
けないのに苦手で何をどうすればよい  
か全然分からなかったからである。でも、  
今日の講座を受けてどうインタビューしたり  
りまとめたりしたらいいかなどコツ、ポイ  
ントが聞けたから、ちょっと自信が持てて  
安心した。それに思ってたより自分なり  
の工夫が出来るから自分の個性がにじ  
み出るような記事を書きたいなとか思え  
て、アイデアがデザイン、こうしてみたいとか  
想像がとてふくらんだ。

今日、教えてもらったことを最大限に  
活かして1人でも頑張って素晴らしい記  
事にしよう。

新聞書き方講座を受けて

僕は新聞の書き方講座を受けて、いつもなにげなく目にしている新聞などの情報は、いろいろな人の工夫の回りのりだと思いました。

何故なら、誰にどのように質問するかというところには、質問を三つ程考えその質問にできた仕事の人に聞くだったりインタビューの間のメモや原稿にするまでの時間にも、分かりやすいように分けてメモを取ったり、内容が消えないように油性ペンでメモを取ったり、インタビューの勢いのまま原稿が書けるようにその日中に原稿を書くなどの工夫もありました。原稿の構成にも人が読みやすいところに写真をはったり、大事な部分を初めに書くことで夜中に速放が入っても後ろを消して入れられるようにするなどの工夫がされていました。このように新聞はインタビューをする前から工夫されていると思、たので新聞などの情報はいろいろな人の工夫の回りのりだと思いました。

新聞書き方講座を受けて

今日の新聞書き方講座を受けて思ったことは2つあります。

1つ目は、新聞の見出しの意味です。見出しを消した映像を見た時、見出しの重要さを知りました。理由は、見出しがあたるときより、なかったときのほうが全然重要だことが伝わらなくて、まどわられたことが命よりにかたからです。なので改めて見出し(小見出しとかも)は大切なんだなと思いました。

2つ目は、写真の大切さです。

写真はインタビューの内容に合ったものじゃないとその場面が想像できづらいし、イメージしにくいからこたわらなれないじゃないかなと思いました。他にも、ブルームックス、意外と大変だということを知りました。写真の撮り方も色々といっていたので、私もそれをマネしておしゃれな写真とかもとれるようになったらいいなと思いました。

(トライやるの新聞も)

新聞書き方講座を受けて

今回の新聞書き方講座を受けて、  
ごい参考になりました。どうい所  
が参考にあたが、具体的にいうと、6w  
2Hをすづくわかりやすく説明してくだ  
さいました。他にも、相づちをひんぱ  
んにうつことや、知ったかぶりをしてい  
ること、インタビューを楽しむこと、最後  
までインタビューをあきらめないこと  
や、「しゃべりすぎ」ないことなど聞いて  
とても参考になりました。新聞の記事  
の書き方については、見出しで興味と  
関心を引くこと、喜びを自分の言葉で書  
くこと、あと、字の大きさ・色・形も工夫  
することが大事ということも知りました。  
今回はわかりやすいで説明、  
本当にありがとうございました。

## 新聞書き方講座を受けて

新聞の書き方講座を受けて新聞を書くには、

必要とされる写真の撮り方などのポイントに写る撮り方を

初めて知りました。ポイントからといって、真ん中に写す

のでなく、右側めに置いて、撮ったり三角形を意識

したりするの大切さということが分かりました。

そして、質問をする時は、“何を” “どうして”

などを意識して質問するのを頑張りました”です。

トワイセるが始まる直前にならないように、3つ質問を

考えていくことを思いました。

この3つの質問で、どうして、どうやったら、を重点的に




聞いていくことを思いました。

6月のトワイセるでは、お店の人にゆいゆいにならな

ように注意し合いながら、新しい事に挑戦していきたく思

います。

新聞書き方講座を受けて

今回の講座を一言で表すとすれば、それは「死ぬにたまたま」  
それくらい、新しいことを色々学べる講座だった。特に、写真の  
撮り方については、知らないことがたくさんあった。撮りたい物  
を真ん中に配置すればいいという訳ではなく、三分割法(?)といひ、  
 正確にこんな感じで線を引く、線が交わる4つの点に対象物  
を置く方法や、三角形を作ってその三角形に合わせて物を写す  
 という撮り方、対角線上に物を置いて撮る方法   
など、本当にたくさん撮り方があった。また、撮り方以外にも、  
取材するときのポイント(5W1H. When, Where, What, Why,  
Who, How)であたり、取材揃の下調べでは完璧にしては  
いけないことであたり、様々なことを教えてくれた。また、全員参加  
の見出しを考えるクイズも意外と難しい。ただ、100字くらいで  
文章をまとめることも難しく感じるのだから、もう少し少ない  
字数でまとめるのは難しいのも当然だとも思った。僕は、  
そこまでホテルで働く人のことが気になって選んだ訳でもないし、余り  
物の中から僕が気になったことを選んだだけだが、少しは興  
味があるのも事実だし、置かれた環境で頑張る、この経験  
をものによろと思えます。ただ、この講座はずっと机面に座  
っていたため、お尻が少しも痛かったです。

## 新聞書き方講座を受けて

今日のお話を聞いて、新聞の書き方を詳しく学びました。

まず、「5W1H」を常に考えながら「イタビ」をしていく事が大事だ

ことだ。聞かせる、相づちをうたえり、共感したりある事や、先入観

にとらわれない事。イタビを繰り返す。最後まであきらめず

が大切と言うのを学びました。

記事や新聞の見出しの必要事項は、短い言葉で表す。例えば、

3本見出しが多い、1本付ら10文字、2本付ら20字程度という

ことになっている。

他にも「逆三角形」という書き方がある。昔はじめての議論

を書く時、その論点、論点をかかると、新聞記事の書き方で

的確に読者の心に訴えかけることができる

書き方がある。

今日のお話を聞いて、イタビ、そして「5W1H」を基礎として

繰り返す、そのイタビを元にする記事は、見出しは短かく

目のつくようなものとし、「逆三角形」という議論の書き方

を書き方をマスターして、トピック、あるいは「何、何、何」記事を書く時

参考にしよう。新聞記事、新聞にしよう。



新聞書き方講座を受けて

新聞の書き方講座を受けて、  
今まで新聞を書いたり写真など  
とったりしたことはあるけど、写真と  
うつす場所だったり写真の配置す  
る場所だったりをそんなに意識して  
いなかったけど、しかし新聞を書いで  
いる人たちもそうゆう糸田かいところでも  
意識していたので新聞をつくるのは  
とても大変で難しいことだなあと思  
いました。トライやるウィークが終わっ  
たらそのことを書くので今日教えてもら  
たことを意識して新聞を書きたい  
と思いました。誤字もそんなにしてい  
けないと言っていたので気をつけたい  
です。

新聞書き方講座を受けて

今日の新聞書き方講座を受けて、写真の111  
と11方とか、A=タビューの仕方、Xモの仕方とか、  
色々なことを知ることでできました。トライ、か  
るで新聞を111枚書く分5分その時は今日散  
元2くらた=とをして111新聞をつくらうと思  
った。

新聞書き方講座を受けて

たくさんの方に興味を持ってもらえました。写真の撮り方、質問の仕方、メモの仕方など、役立つ情報を教わりました。インタビュー-術の下調べ時に完璧にしない、自分はおかしい、そんなので注意してほしいです。また、6w 2H (いつ、どこで、誰か、何を、なぜ、どちらが、どのように、どのくらい)と時間軸(現在、過去、未来)を意識するのはインタビューだけのことだけでなく、話のときでも同じことが読めるように思いました。あと、知たかぶり、自分もしようだし、複雑な質問をして、相手を困らせてしまったり、そんなので質問をするときは、素朴な質問をすることを心がけてインタビューをしてほしいです。記事を書く際にも具体的に書く、正確さ、豊かさを意識してほしい記事を書けるようにしてほしいです。

新聞書き方講座を受けて

今日の講座で新聞のよりよいレイアウトのやりかたや見る人が読みたい、と思うような見出しの文について知ることができました。小学生のとき新聞を書く時間が良くあったのですが、いつも「あんまりだなあ」と思うことがあったので次のトライやるウィークの新聞は自分も満足できて、読む人も「おもしろい」「読みたいくなる」と思えるような新聞をつくりたいと思いました。また、写真を真ん中に貼るということを知ったので、それもバカげないようにしたいです。トライやるウィークの新聞はそこで働いている人に直接インタビューするので、何回も言わせろようなことをしたり、大事なところを聞きのがしたりしないように、インタビューするときはかじょうがきで書いて、後でまとめるようにしたいです。あと、働いてみてわかったことや感想をいつもより具体的に書いて、違う場所に行っていた人にも詳しくわかるような新聞を作りたいです。

新聞書き方講座を受けて

・トライヤ子ウーケに行つて3つの質問をさせてそのま  
う「メモをとる」のか、か見出しや行末などの位  
置を細かい所まで教えてくれたのでよ。  
トライヤ子ウーケに行つた質問を、かりして、分から  
ない所は、またそのまにせがに、かりと聞きたいです。  
週間もいからできたいろいろな内容を新聞に  
書きたいです。

新聞書き方講座を受けて

新聞書き方講座を受けて 5W1H や 逆三角形など

新聞を作る上で役立つことを知った。また 下調べを

しておくことや下調べをしてもやりやすいなどの

ことを初めて知って驚いた。自分は新聞を作ることに

が苦手な文章が長すぎたり短すぎたりしてしまっている

新聞を作ることを知って落ちこんでいた。

今日聞いた話を活用して 苦手意識を無く

した。

トイセウ は人生で1回しかなくて一週間

もないから思う存分楽しんで学んだ。また

それをしっかり文字に表した。

新聞書き方講座を受けて

普段、自分はあまり新聞を見ませんが、この講座を受けて、新聞ってこんなにも細かい工夫がされているんだ、って思ったのでこれから少しでも新聞を見てみたいです。

また、インタビューのコツSWIHを使ってトライやる・ウィークで自分が行く事業所の方に上手に質問していきたいです。

新聞書き方講座を受けて

新聞の書き方、インタビューの仕方についてわかりました。新聞をいろいろな人に見てもらうのに、苦労があることがわかりました。いろいろな人に見てもらうのに、第一印象の見出しをし、かりと書かないといけないうのがわかりました。写真も大切に撮る角度でも変わってくるので、それも考えないといけないうから、大変ということがわかりました。

僕はインタビューなどのメモを取るのが苦手でトライする時どうしようと思、ていたけど、今回下調べをやるなどと教えてくださったので当日は大いしょうぶだと思ひます。

インタビューの仕方と新聞の書き方を学んだので小学生の時書いた新聞とは違うものになる予感がして少し楽しみです。



新聞の書き方講座を受けて、なんとなくどんなレイアウトで新聞を書けばよいのか分かりました。良い新聞を作るには、インタビューをしっかりとってその情報から記事を書くということが分かりました。インタビューをしっかりとるためには、適量の下調べをしてから質問をしたり、5W2H(いつ、どこで、だれが、なにを、なぜ、どのように)を使ってインタビューをすることが大切だと分かりました。他にも、インタビューをするときは、大事な部分を切り取ってメモをするなどの工夫が必要だと分かりました。私がインタビューをするときは相手の話したことに相づちをうちながらインタビューをしたりメモをとったりしたいです。新聞ができて上がったときに誤字脱字があると、その情報が本当に正しいのかと信用がうすれてしまうので、書き終えてからも誤字脱字が無いかの確認をしっかりとりたいです。新聞の記事は文章以外にも、写真などを使うことがあるので写真の撮り方にも気をつけようと思いました。講座で三好さんは、三角や対角線の形にそって写したいものを入れたり、真ん中に写したいものをおかないことで上手に写真が撮れると話していたので、「トライやる・ウィーク」で写真を撮るときは私生活でも活かしたいです。新聞をかくときに書く言葉の意味やイメージに合わせて字体や字の色を工夫するだけで新聞の印象も変わり、ものをイメージしやすくてきたりすると分かりました。「トライやる・ウィーク」を終えて、体験したことを新聞にまとめるときにも、忘れずに新聞書き方講座で学んだことを意識して上手に作れるように、「トライやる・ウィーク」が始まる前から頑張りたいです。

僕は今日三好さんの話を聞いて「誰とかがおら」誰にも負けない記事を書こうと思った。

今日の話で「三好の仕方」写真のとり方インタビュー質問の仕方を知った。

質問していいのは「どうして」といふことで「誰とかがおら」などという質問をします。

それを見出し体言葉を変えて自分だけの個性がでる見出しにしようと思った。

今日話してくれた事を生かして、「しんぶん」作り頑張ろうと思っ  
ました。